

is cultivated in Tokyo, but it is not known how this plant was found in that island. This propagates well in Tokyo and is likely to become an alien in Japan.

○ハリバンゴケ妙義山に産す (水島うらら) Urara MIZUSHIMA: *Molendoa sendtneriana* (Bruck & Shimp.) Limpr. from Mt. Myogi, Prov. Kōzuke.

Molendoa sendtneriana は所謂、好石灰岩藓の一つに数えられる可きもので、東京近郊でも多摩川、秋川の upstream 方面、秩父等の石灰岩地域に割合に広く分布する模様である。もつとも好石灰岩藓と云つても厳密に石灰岩にのみ着生すると云うのではなく、石灰岩地域では例えば角岩等にも生育するものである。然し石灰岩地域以外には見出されたと云う報告を知らない。筆者は同種を上野、妙義山の白雲山山頂附近の標高約 1000-1100m の岩上で採集した (Herb. U. Mizushima 4218, 4221, May 3, 1952, sterile)。妙義山は著しく解析を受けては居るが全山輝石安山岩及び少量の角閃石安山岩より成るとの事である (久野久: 火山及び火山岩 1954)。同山には矢張り好石灰岩植物のキンモウワラビを産する事が既に知られているので *Molendoa sendtneriana* の産はキンモウワラビの生育と軌を一にして興味ある事と思う。

○巨大な柱瘤 (俗に乳房) を有するイチヨウ (藤野正義) Masayosi FUJINO: The Ginkgo tree with large "Masercylinders" (socalled "Chichi").

イチヨウの柱瘤については、藤井 (1895) が東京及び中部日本で観察されたものについて報告されているが、筆者は長崎県北松浦郡鷹島村三里免の今宮神社境内に生育しているイチヨウに藤井氏が観察された柱瘤より大きいと思われるものを見出したので報告する。このイチヨウは雌株で株の面積は約 2.4 平方 m。根元附近から三本に分れ、その中の一番大きい幹で人立の所で周囲 3.95 m、その一番低い側枝の下面に多数の柱瘤が見られる。

最下方の柱瘤は長さ 2.8 m、基部で合着し先端附近で離れ地上 1.45 m 迄垂下している。此の柱瘤の基部の周囲 1.85 m、分離している附近で周囲 0.75 m である。此の側枝には、主幹からの分岐点より約 4.5 m 位上方迄大小の柱瘤が見られる。

このイチヨウは附近一帯で乳神様として崇神者が多く、参拝者はこのイチヨウの柱瘤を削り煎じて催乳剤として用いているそうである。因みに此の社は久寿年間に勧請され連玉命、仁徳天皇、源大夫判官久公を祭り境内には、元寇殉難将士を祭つた五輪塔が多数あつて元寇史蹟として有名な所である。

(長崎大学学芸学部)